GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携

操作ガイド (2.1版)

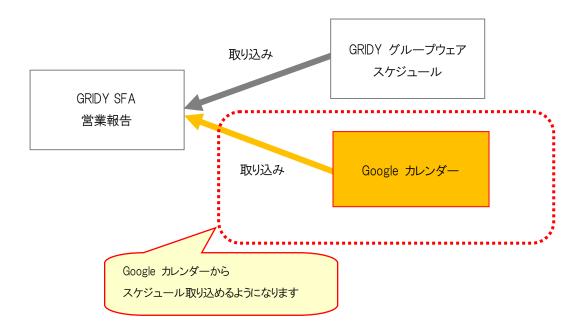
2016 年 9 月 2 日 KDDI 株式会社

目次

内容	
1. はじめに	1
2. GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携機能を利用するためには	2
■2-1 Google カレンダーAPI の有効化と認証情報の取得	3
2-1-1.プロジェクトの作成	3
2-1-2. Google API の有効化	5
2-1-3. Google API 認証情報の作成	7
■2-2 システム設定:google 連携 API 設定	10
2-2-1. google カレンダー連携を設定する	10
2-2-2. google カレンダー連携を削除する	13
■2-3 Google カレンダーへの権限付与設定	14
2-3-1. Google カレンダーの設定を変更する	14
■2-4 システム設定:google カレンダーD の設定	17
2-4-1. Google カレンダーD の設定	17
3. GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携機能について	
■3-1 SFA 営業報告と Google カレンダーの連携	19
■3-2 SFA 営業報告と Google カレンダー連携の利用方法	20
3-2-1. SFA 営業報告の作成時に Google カレンダー情報を取得する	20
■3-3 SFA 営業報告と Google カレンダー連携の利用方法(アプリ版)	23
3-3-1. SFA 営業報告の作成時に Google カレンダー情報を取得する	23

1. はじめに

GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携は、GRIDY SFA(以下、SFA)の営業報告の作成時(※)に Google カレンダーから情報を取り込んで SFA 営業報告に内容を反映させることができます。



※SFA 営業報告の新規作成時のみ対応しております。

2. GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携機能を利用するためには

GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携を利用するためには、管理者(アドミニストレーター)と各メンバーで事前に以下の設定が必要です。

■管理者(アドミニストレーター)で設定

Step1

Google カレンダーAPI の	Google Developers Console で、Google カレンダーAPI の利用設定を
有効化と認証情報の取得	行います。
	「■2-1 Google カレンダーAPIの有効化と認証情報の取得」を参照してく
	ださい。

Step2

システム設定	GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携の全社的な利用について	
「Google 連携 API 設定」	設定をします。	
	「 <u>■2-2 システム設定:Google 連携 API 設定</u> 」を参照してください。	

■各メンバーで設定

Step3

Google カレンダーAPI への	Google カレンダー画面 で、Google カレンダーの権限を設定します。
権限付与設定	「 <u>■2-3 Google カレンダーへの権限付与設定</u> 」を参照してください。

Step4

システム設定	GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携で利用する Google カレンダ	
「Google カレンダーID 設定」	一の ID の設定をします。	
	「 <u>■2-4 システム設定:google カレンダーD の設定</u> 」を参照してください。	

■2-1 Google カレンダーAPIの有効化と認証情報の取得

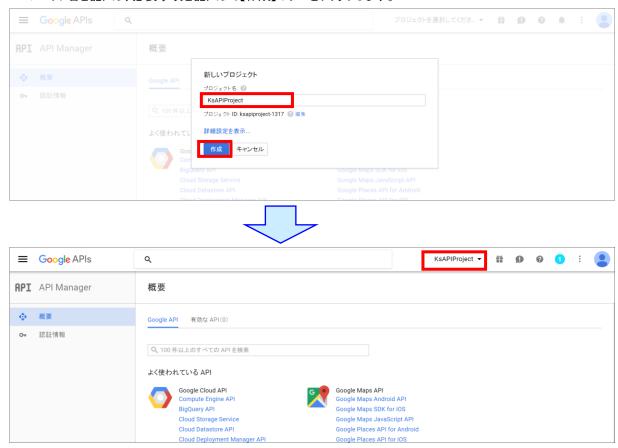
Google Developers Console で、Google カレンダーAPI 利用の設定を行います。 こちらの設定は、アドミニストレーターで設定する必要があります。

2-1-1.プロジェクトの作成

- 1. 下記の URL から Google Developers Console にアクセスして、Google アカウントにログインします。
 【URL】 https://console.developers.google.com
- 2. 【プロジェクトを選択してください▼】から【プロジェクトの作成】をクリックします。

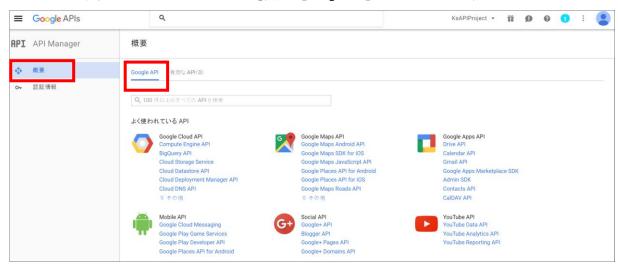


3. 新しいプロジェクト作成画面が表示されるので、 プロジェクト名を記入し、必要事項を記入して【作成】ボタンをクリックします。

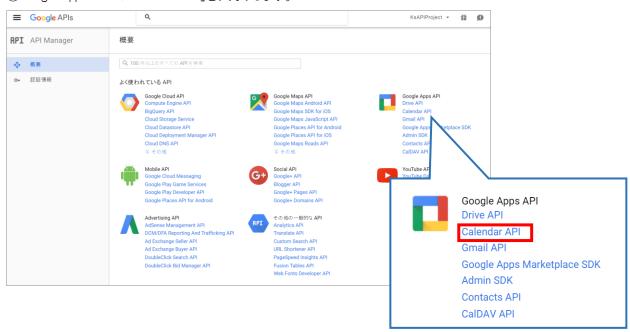


2-1-2. Google API の有効化

1. プロジェクトの「概要(プロジェクト ダッシュボード)」画面の【Google API】タブをクリックします。



2. ①Google Apps API の「Calendar API」をクリックします。



- ②【APIを有効にする】をクリックします。
- ※有効化の確認画面が表示された場合は、利用規約を読んだ上で内容の同意にチェックを入れて、 【同意する】ボタンをクリックします。

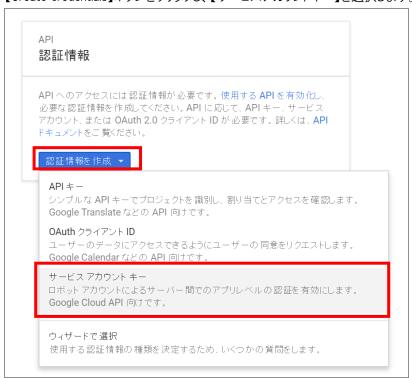


2-1-3. Google API 認証情報の作成

1. 左のメニューの「認証情報」を選択します。



2. 【Create credentials】ボタンをクリックし、【サービスアカウントキー】を選択します。



3. サービスアカウントの【選択】をクリックし、「新しいサービスアカウント」を選択します。



4. 「名前」に任意の文字列を入力、「キーのタイプ」に【JSON】を選択し、【作成】ボタンをクリックします。



5. 確認のポップアップウィンドウの【閉じる】ボタンをクリックします。



作成された認証用キーファイルをダウンロードします。

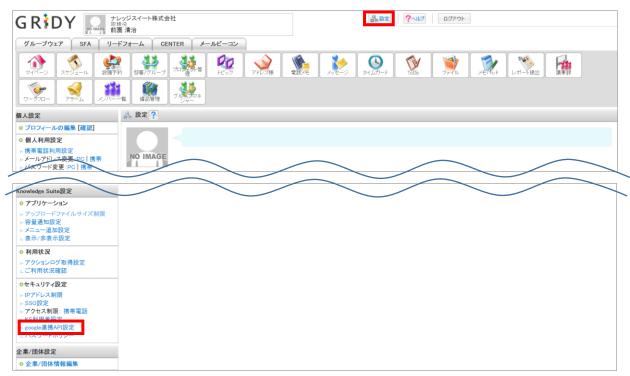
※このファイルは KDDI Knowledge Suiteの google 連携 API 設定に利用しますので、分かりやすい場所に保存してください。

■2-2 システム設定:google 連携 API 設定

KDDI Knowledge Suite にて、スケジュール連携の全社的な利用について設定します。 こちらの設定は、アドミニストレーターで設定する必要があります。

2-2-1. google カレンダー連携を設定する

1. KDDI Knowledge Suite の「設定」から、「google 連携 API 設定」を選択します。



2. 【ファイルの指定】ボタンから、Google Developers Console 画面で取得した認証キーファイルを選択します。 認証キーファイルについては「2-1-3. Google API 認証情報の作成」を確認してください。



3. 【認証】ボタンをクリックして、選択した認証ファイルの認証処理を行います。



4. 認証が成功すると確認ポップアップウィンドウが表示されるので【OK】をクリックします。



5. 「google カレンダー連携設定」が【有効】になっていることを確認し、【設定保存】ボタンをクリックします。



POINT

ここで作成した「連携メールアドレス」は、ユーザーごとに行う Google カレンダーの権限設定($\lceil 2-3-1 \rceil$ Google カレンダーの設定を変更する」)に必要となります。

アドミニストレーターは、必要に応じてユーザーへの通知を行ってください。

2-2-2. google カレンダー連携を削除する

1. 「認証ファイル」の【削除】ボタンをクリックします。



POINT

すでに google カレンダー $\mathbb D$ の設定($\lceil 2-4 \$ システム設定: google カレンダー $\mathbb D$ の設定」)を行っている場合、上記操作で認証ファイルを削除すると google カレンダー $\mathbb D$ の設定も削除されます。

■2-3 Google カレンダーへの権限付与設定

SFA と連携を行う Google カレンダーに権限を設定します。

こちらの設定は各メンバーで設定する必要がございます。

·Google カレンダーへの権限付与設定前の注意事項

設定の際は、API 用アカウントの作成から1時間以上経過してから設定を行ってください。アカウント作成直後に Google カレンダーへの権限付与設定をした場合、Google 側の準備ができていない為、正常に連携できない場合 があります。

2-3-1. Google カレンダーの設定を変更する

- 1. Google アカウントにログインしている状態で、下記の URL から Google カレンダーにアクセスします。 【URL】 https://calendar.google.com/calendar
- 2. SFA と連携したいカレンダーの【
 □ 】をクリックし、【このカレンダーを共有】を選択します。



3. Google カレンダー連携設定時に作成した連携メールアドレスを設定します。 ※連携メールアドレスにつきましては、「2-2-1.google カレンダー連携を設定する」を参照してください。 (連携メールアドレスはアドミニストレーターから確認可能です)



4. 権限の設定を選択します。



設定した権限の種類により、KDDI Knowledge Suite に反映できるスケジュールが一部制限されます。 下記をご確認ください。

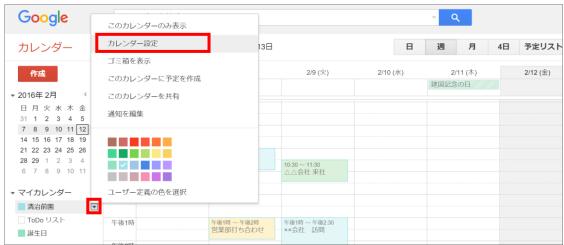
	Google カレンダーの公開設定	
Google カレンダーの権限設定	一般公開	限定公開
変更および共有の管理権限	0	0
予約の変更権限	0	0
閲覧権限(すべての予約の詳細)	0	×
予定の時間枠のみを表示(詳細を非表示)	×	×

〇: 反映可能、×: 反映不可

5. 【保存】ボタンをクリックします。



6. SFA と連携したいカレンダーの【<!!>
「】をクリックし、【カレンダー設定】を選択します。



7. 「カレンダーID」を確認します。

「カレンダーD」は「google カレンダーD の設定」(2-4-1.google カレンダーD の設定)で利用します。



■2-4 システム設定:google カレンダーID の設定

KDDI Knowledge Suite にて、連携する google カレンダーD を設定します。 こちらの設定は各メンバーで設定する必要がございます。

2-4-1. Google カレンダーID の設定

- 1. KDDI Knowledge Suite の「設定」から、「google 連携 API 設定」を選択します。
 - ※「google カレンダーD 設定」は、アドミニストレーターで「google カレンダー連携設定」を「有効」としている場合に表示されます。

google カレンダー連携設定については「2-2 システム設定:google 連携 API 設定」を参照してください。



2. 「google カレンダーID 設定」の【追加】ボタンをクリックします。



3. google カレンダーD を入力し、【接続確認】ボタンをクリックします。 ※google カレンダーD については、「2-3-1 Google カレンダーの設定を変更する」を参照してください。

設定?
googleカレンダーID設定

googleカレンダーID設定

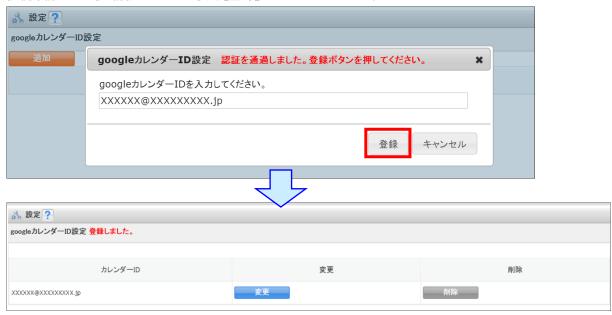
googleカレンダーIDを入力してください。

XXXXXXX@XXXXXXXXXX.jp

接続確認

キャンセル

4. 接続確認の成功後(認証が通過した後)、【登録】ボタンをクリックします。



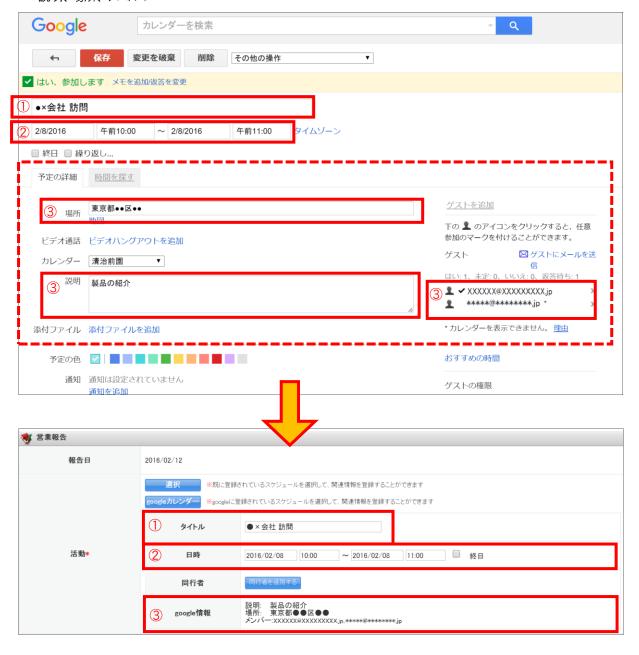
3. GRIDY SFA × Google Apps カレンダー連携機能について

■3-1 SFA 営業報告と Google カレンダーの連携

SFA 営業報告の作成時に、Google カレンダーの予定を取り込むことができます。

SFA 営業報告に取り込まれる Google カレンダーの情報

- ①タイトル
- ②日時
- ③google 情報
 - ・説明、場所、ゲストメンバー



■3-2 SFA 営業報告と Google カレンダー連携の利用方法

SFA 営業報告に対して、新規作成時に Google カレンダーから情報を取得し反映させる方法について説明します。

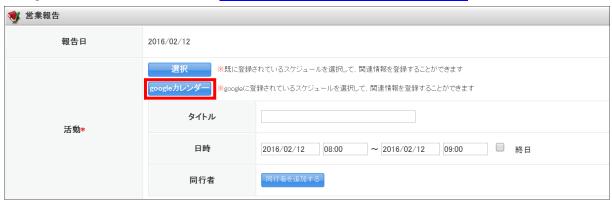
3-2-1. SFA 営業報告の作成時に Google カレンダー情報を取得する

営業報告の新規作成時に、Google カレンダーの情報を取り込んで、営業報告に反映させることができます。

1. 【新規営業報告】ボタンをクリックし、営業報告の新規作成画面を開きます。



- 2. 【google カレンダー】ボタンをクリックします。
 - ※【google カレンダー】ボタンは、google カレンダーD を設定している場合のみに表示されます。
 Google カレンダーD の設定については「2-4 システム設定:google カレンダーD の設定」を参照してください。



3. Google カレンダーに登録されているスケジュールの中で、営業報告に反映したいスケジュールを選択します。



POINT

Google カレンダーのスケジュール選択画面には、選択されている週の 1000 件分のスケジュールが表示されます。

目的のスケジュールが表示されない場合は、検索ボックスから検索してください。

4. 選択した Google カレンダーのスケジュールが、SFA 営業報告に取り込まれます。



※営業報告の参照画面では以下のように表示されます。



POINT

Google カレンダーの連携は、SFA 営業報告の新規作成時のみ対応しております。 SFA 営業報告に取り込んだ Google カレンダーの情報は、編集・削除できません。 また SFA 営業報告を「コピーして作成」した場合、Google カレンダーの情報はコピーされません。

■3-3 SFA 営業報告と Google カレンダー連携の利用方法(アプリ版)

SFA 営業報告に対して、新規作成時に Google カレンダーから情報を取得し反映させる方法について説明します。 ※画像は iPhone での画像になります

3-3-1. SFA 営業報告の作成時に Google カレンダー情報を取得する

営業報告の新規作成時に、Google カレンダーの情報を取り込んで、営業報告に反映させることができます。

営業報告一覧画面にて、【新規作成】ボタンをクリックし、営業報告の新規作成画面を開きます。



- 2. 【google カレンダー】ボタンをクリックします。
 - ※【google カレンダー】ボタンは、google カレンダーD を設定している場合のみに表示されます。
 Google カレンダーD の設定については「2−4 システム設定:google カレンダーD の設定」を参照してください。



3. Google カレンダーに登録されているスケジュールの中で、営業報告に反映したいスケジュールを選択します。



POINT

Google カレンダーのスケジュール選択画面には、選択されている週の 2500 件分のスケジュールが表示されます。

目的のスケジュールが表示されない場合は、検索ボックスから検索してください。

4. 選択した Google カレンダーのスケジュールが、SFA 営業報告に取り込まれます。



※営業報告の参照画面では以下のように表示されます。



POINT

Google カレンダーの連携は、SFA 営業報告の新規作成時のみ対応しております。 SFA 営業報告に取り込んだ Google カレンダーの情報は、編集・削除できません。